

# 東京音楽大学リポジトリ

## Tokyo College of Music Repository

### 2017年度の図書館展示とイベント

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京音楽大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1284">https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1284</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# 2017年度の図書館展示とイベント

---

## 1. 展示

ケース展示と貸出展示を実施。

単発で企画した展示の他に、昨年度より連続性を持ったテーマをシリーズ化したものを加えた。これらのシリーズ展示は、来年度以降も継続する予定。

### 1-1. 音大生の本棚 2017

2017年4月3日(月)～2017年7月14日(金)(貸出展示<sup>1)</sup>)

4月に入学した新入生を主な対象として、音楽に関する入門書や基本的な文献を中心に展示。

[ 展示内容 ]

- ・西洋音楽史
- ・日本と音楽
- ・楽譜・版
- ・音楽家の健康と心構え
- ・就職、進路
- ・音楽知識・実用

今年度は昨年の内容を見直し、新たに選んだ7つのテーマに沿って展示をした。選書に当たっては、講座ごとに担当の先生が提示して下さる推薦図書と重ならないように配慮した。

当館は、楽譜資料やAV等の音楽資料は閉架、音楽書の開架は3階といったように、学生の目にふれやすい所に資料がほとんどないため、新入生が図書館に来て最初に目に付く1階の棚、手に取りやすい所に資料を集めた。貸出統計<sup>2</sup>からは、進路・就職関係の本への関心の高さがうかがえる。また、マンガや図解などビジュアルに訴える内容のものへの人気の高さも印象的だ。教育実習の影響か、日本音楽関係の本の貸出が意外と多いのも興味深い。

来年度以降も内容の充実を図りながら、新年度恒例の展示とする予定。

---

<sup>1</sup> 1階ロビーの特設書架でテーマに沿った資料を集め、ディスプレイ風に配架するもの。ポスター等の案内やわかりやすい見出しも設置している。

<sup>2</sup> 貸出統計はp.99に掲載



## 1-2. ファクシミリ版シリーズ3「ショパンの自筆譜」

2017年4月3日(月)～2017年7月14日(金)(貸出展示<sup>3</sup>)

普段目にすることが少ない作曲家自筆の楽譜のファクシミリ版を展示するシリーズ。

3回目となる今回はショパン (Frédéric François Chopin, 1810-1849) を取り上げた。自筆譜に関連する書籍や楽譜の貸出展示も同時に行った。

展示のサイト<sup>4</sup>では、オンラインで調べられるショパンの楽譜や資料についてのリンク集も公開した。



<sup>3</sup> ガラスのショーケース内に、説明書きとともに自筆譜ファクシミリ等、高価な手稿譜原本や資料を展示するもの。併せて関連の書籍等も近くの書架に配架している。

<sup>4</sup> <http://tokyo-ondai-lib.jp/exhibition/>

### 1-3. 時代の架け橋に立つ二人 モンテヴェルディとテレマン

2017年7月20日(木)～2017年10月27日(金) (貸出展示)

2017年は、モンテヴェルディ(Claudio Monteverdi, 1567-1643)の生誕450年と、テレマン(Georg Philipp Telemann 1681-1767)の没後250年にあたる年であり、それを記念して展示を行った。

モンテヴェルディはルネサンスとバロックの、テレマンはバロックとロココや前古典派の過渡期に活動した作曲家。古い様式と、新しい様式の作曲法を巧みに駆使し、多くの作品を生み出した。

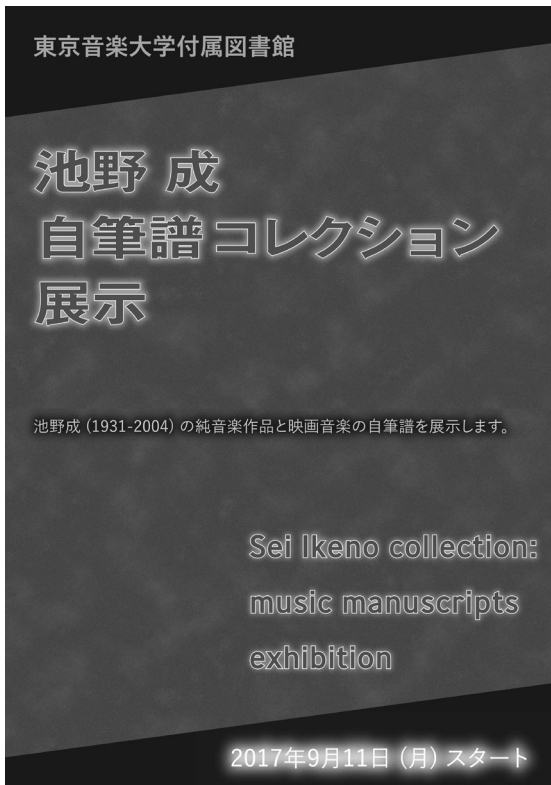
2人とも多作な作曲家であり、代表曲の全集楽譜とCDを展示した。



#### 1-4. 池野成自筆譜コレクション展示

2017年9月11日(月)～2018年3月10日(土)(ケース展示)

作曲家で本学元作曲科講師、池野成(いけのせい 1931-2004)の自筆譜が当館に寄贈され、今年度から貸出を始めた<sup>5</sup>。それを記念して自筆譜の展示と、池野成が手がけた映画のDVDのパッケージ展示を行った。



<sup>5</sup> 鳥海高広「池野成自筆譜コレクション」『ライブラリーレポート』第4号 p. 43-58。

## 1-5. タカラヅカ 現実から生まれた夢世界

2017年9月11日(月)～2018年3月10日(土)(ケース展示)

エンターテインメント系の蔵書を展示する機会が今までなかったので、今年度初めて展示することにした。とはいえ、エンターテインメント系の蔵書自体が多いわけではないので、その中で比較的書籍の蔵書が多かった宝塚歌劇団関連の展示を選び展示した。展示に合わせて関係する若干の新刊図書、ならびに映像資料も購入した。



## 1-6. 教員の著作物 2 ～ピアノ科専攻～

2018年1月15日(月)～2018年3月10日(土)(貸出展示)

本学教員の資料を貸出展示するシリーズの2回目。

本年度は、ピアノ専攻教員の著作を取り上げた。ほとんどの資料が、教員自身の演奏を録音した視聴覚資料だった。また、先生方が校訂した楽譜、雑誌に掲載された論文や記事の抜粋も展示・紹介した。


この企画開催にあたり、関連教員の著作物の所蔵確認、補充も行った。予め関係の先生方に展示開催のお知らせと、ご自身の著作物に関する情報提供をお願いしたところ、入手困難な資料を御寄贈いただける例もあった。

図書館貸出展示

### 教員の著作物シリーズ

## ～器楽専攻ピアノ～

本学教員の著作物を毎年少しずつご紹介していく、貸出展示シリーズの2回目。  
今回は、ピアノ専攻の先生が執筆、出演された著作物を、展示、貸出します。



2018年1月～3月  
付属図書館1階ロビー  
展示・貸出・閲覧

Tokyo college of music library  
東京音楽大学付属図書館



## 1-7 貸出統計

期間	展示の種別	展示名称	展示タイトル数	期間中貸出のあったタイトル数	期間中の総貸出回数	貸出ランキング
4月3日(金) ～ 7月14日(金)	貸出 展示	音大生の本棚 2017	110 タイトル (和書100、 洋書10)	64タイトル	156回	1位(9回)『音大生のための就職徹底ガイド/ 新村昌子著』 2位(7回)『「音大卒」は武器になる / 大内孝夫著』 3位(6回)『「音大卒」の戦い方 / 大内孝夫著』; 『音楽で一生 食っていきたい人のための本 / 石田こうき』; 『キャラ和声 和音記号の擬人化でもう丸暗記とはサヨナラ! / 水上浩介著』 6位(5回)『キーワード150音楽通論 / 久保田慶一編』; 『まん が音楽史 / Bernard Deyries [ほか著]; 1. 2. 3.』; 『日本音楽 との出会い: 日本音楽の歴史と理論 / 月溪恒子著』; 『はじ めるのオーケストラ・スコア / 野本由紀夫著』 10位(4回)『演奏者のためのはじめてのアレクサンダー・テク ニーク / 石井ゆりこ著』; 『西洋音楽史 / 岡田暁生著』; 『は じめての音楽分析 / 久保田慶一著』; 『歌舞伎キャラクター 絵図 / 辻村章宏イラスト・解説』; 『江戸楽編集部編著』; 『知 って得するエディション講座 / 吉成順著』; 『本番に強くなる! / ドン・グリーン著; 岩木貴子訳』 (以下、省略)
5月15日(月) ～ 9月8日(金)	ケース 展示	ファクシミリ版シリーズ3 「ショパンの自筆譜」	25タイトル (楽譜1、 和書18、 洋書5、映像1) 関連資料として 開架展示	7タイトル	9回	(2回)『ショパン / 小坂裕子著』; 『ショパン全書簡: 1816- 1831年: ポーランド時代 / ショパン [著]』 (1回)『ショパンの楽譜、どの版を選ばいいの? / 岡部玲子 著』; 『ショパンの本 / 音楽の友編』; 『生誕200年ショパンの すべて: その生涯と作品 / 音楽の友』; 『弟子から見たショ パン / ジャン=ジャック・エーゲルディンゲル著』; 『日本人と ショパン / 多田純一 [著]』
7月20日(木) ～ 10月27日(金)	貸出 展示	時代の架け橋に立つ 二人 モンテヴェルディ とテレマン	30タイトル (楽譜15、 和書6、CD6、 映像3)	8タイトル	9回	(2回)『初期オペラの研究: 総合舞台芸術への学際的アプロ ーチ / 丸本隆編』 (1回)『音楽の国ドイツの神話とその起源 / 吉田寛著』; 『 L'incoronazione di Poppea / text by Giovanni Francesco Busenello; music by Claudio Monteverdi (映像)』; 『L'Orfeo: favola in musica / da Claudio Monteverdi (映像)』; 『Selva morale e spirituale / Monteverdi (CD)』; 『オルフェオ: クレモ ナ、マントヴァ、そしてオペラの生誕 / 山西龍郎著』; 『マドリ ガール集 第2巻 / モンテヴェルディ (CD)』; 『マドリガール集: 第5巻 / モンテヴェルディ (CD)』
9月11日(月) ～ 3月10日(土)	ケース 展示	池野成 自筆譜コレクション展 示	17タイトル (映像) 関連資料として 開架展示	2タイトル	2回	(1回)『氷点 / 山本薩夫監督; 水木洋子脚本; 三浦綾子原 作(映像)』; 『女のみづうみ / 吉田喜重監督; 川端康成原作; 石堂淑朗、大野靖子、吉田喜重脚本映像』
10月19日(木) ～ 1月12日(金)	貸出 展示	タカラヅカ 現実から生まれた夢 世界	59タイトル (楽譜1、 和書41、 洋書2、雑誌2、 CD5、映像8)	16タイトル	48回	1位(9回)『ベルサイユのばら: オスカル編(映像)』 2位(5回)『ロミオとジュリエット(映像)』; 『王家に捧ぐ歌: グラ ンド・ロマン: オペラ「アイダ」より(映像)』; 『宝塚歌劇100 周年 夢の祭典: 時を奏でるスミレの花たち(映像)』; 『翼ある 人びと: プラームスとクララ・シューマン(映像)』 6位(4回)『ベルサイユのばら: フェルゼンとマリー・アントワネ ット編(映像)』 7位(3回)『愛と革命の詩: アンドレア・シェニエ; Mr. Swing!: ショー・オルケスタ(映像)』 8位(2回)『マリー・アントワネット曲集 / 佐伯真魚著(楽譜)』; 『ロミオとジュリエット (CD)』; 『劇場の近代化: 帝国劇場・楽 地小劇場・東京宝塚劇場 / 永井聡子著』; 『宝塚歌劇100年 展: 夢、かがやきつづけて / 兵庫県立美術館、日本経済新 聞社編集』 (以下、省略)
1月15日(月) ～ 3月10日(土)	貸出 展示	教員の著作物 2 ピアノ科専攻	236タイトル (楽譜24、 和書13、 雑誌(記事) 111、 CD76、 映像12)	31タイトル	51回	(4回)『24のプレリュード 作品53 / カプーステン: 作曲者自身 による監修・運指; 川上昌裕 解説・編(楽譜)』; 『8つの演奏 会用エチュード 作品40 / カプーステン: 作曲者自身による 監修・運指; 川上昌裕 解説・編(楽譜)』 (3回)『Concerto for 2 pianos and orchestra / Mozart & Poulenc (CD)』; 『Etudes: op. 2-1, op. 8, op. 42, op. 49-1, op. 56-4, op. 65 / Scriabin; [伊達純、岡田敦子編集・校訂] (楽 譜)』; 『Piano concertos / Grieg & Rachmaninov (CD)』 (2回)『Music for cello and piano / David Popper (CD)』; 『カ プーステンピアノアルバム / カプーステン; ニコライ・カプ ーステン監修; 校訂・解説, 川上昌裕; 1. 2. 3 (楽譜)』; 『シンフ オニエッタ作品49(連弾) / カプーステン; [監修, ニコライ・カ プーステン; 校訂, 川上昌裕] (楽譜)』; 『ピアニストは、進化す る: 「限界」を超える奇跡のピアノ指導 / 川上昌裕著』; 『ピア ノのための「忘れられた調べ」第1集, 作品38 / ムンテル; 高 久暁校訂・解説; 川上昌裕運指・演奏ガイド(楽譜)』; 『ピア ノ初見演奏法: 基礎と応用 / 小坂井司、広瀬宣行 共著』; 『 レッスンの友, 45巻・49巻(雑誌)』; 『本当に役立つ! ピアノ練 習法74: 15人の指導者が実践する最強のトレーニング / 伊 賀あゆみ[ほか]著; まだまだ知りたい編』 (以下、省略)

[貸出統計集計日: 2018年2月21日]



## 2. イベント

図書館では、学生や地域の方々に図書館の所蔵資料を紹介すると共に、いろいろな楽器の音や貴重なレクチャーをお聞きいただく機会となるよう、国内外の講師を招聘して開催している。セミナーは入場無料。

### 2-1. ライブラリー・セミナー

当館のコレクションの一つ「バッハの神学文庫」の資料を用いて昨年度から始まった『マタイ受難曲』の連続講座は本年度も引き続き丸山桂介先生を講師として行われた。

昨年度は3回の講義全て受講していただくことを前提として募集したが、欠席される方が多かったため、今年度からは各回の講座ごとに募集した。来年度も引き続き同じ内容でセミナーを開催する予定。

#### バッハの神学文庫連続講座—マタイ受難曲—

第4回 2017年5月27日(土)

第5回 2016年9月30日(土)

第6回 2017年1月27日(土)

場所：東京音楽大学附属図書館5階

講師：丸山桂介（音楽評論家・元東京音楽大学講師）



「丸山桂介先生」



「講義の様子」

## 2-2. レクチャーコンサート

ライブラリー・セミナーで行われた「バッハの神学文庫連続講座 —マタイ受難曲—」の第4回目の講義の後に、特別コンサート「歌えよ、この涙の谷で」が行われた。

当日配られたプログラム解説を元に、丸山先生が新たな解説を書き下ろし、演奏部分をネット配信している<sup>6</sup>。配信用の動画については、講義で使用する音源等を制作してくださっている馬場隆氏が編集した。

### バッハの神学文庫連続講座 —マタイ受難曲—

#### 特別コンサート『歌えよ、この涙の谷で』

2017年5月27日(土)

場所：東京音楽大学 J 館スタジオ

講義：丸山桂介

演奏：中丸和美(ソプラノ)、臼井雅美(チェンバロ・バロックダンス)、根津要(チェロ)



「丸山先生と演奏者」

---

<sup>6</sup> バッハの神学文庫のサイト <http://tokyo-ondai-lib.jp/collection/bacharchive> 内の「コンサート」で解説付きの動画を配信している。また演奏部分の動画は、東京音楽大学附属図書館メディアサイト <http://tokyo-ondai-lib.jp/media> で配信している。

## プログラム

### I. 『マタイ』 再考

『マタイ受難曲』 BWV 244 より

1. 第1曲「来たれ、娘らよ、われとともに嘆け」ジグのテンポで  
—ダンスとそのステップ講解—  
白井雅美（バロックダンス）
2. 第39（47）曲アリア「哀れみたまえ」メンデルスゾーン版による  
中丸和美（ソプラノ） 白井雅美（チェンバロ） 根津要（チェロ）

### II. バッハ・創造の周辺

1. サルヴェ・レジーナ（天の女王マリアよ聴きたまえ） p. 76 ハ短調 / ペルゴレージ  
中丸和美（ソプラノ） 白井雅美（チェンバロ） 根津要（チェロ）
2. チェロ・ソナタ 作品5 第1番 イ長調 / ジェミニアーニ  
白井雅美（チェンバロ） 根津要（チェロ）

### III. 再び バッハを

1. 無伴奏チェロ組曲 第5番 ハ短調 BWV 1011  
根津要（チェロ）
2. フランス組曲 第3番 ロ短調 BWV 814  
白井雅美（チェンバロ）

### 3 終わりに

図書館の広報活動として始めた展示やイベントに関しては、今後も継続していきたいと考えている。

展示に関しては、シリーズ化するものも含め、展示資料の選択や見せ方の工夫に改善の余地がある。

特に、図書館の特殊コレクションに関しては、積極的に展示をすることが広報にもつながると考えているので、今後も継続して行いたい。

イベントに関しても、図書館資料やコレクション資料を活かしながら、より開かれた講座やコンサートを開催していきたいと考えているが、2019年に新校舎移転が予定されているため、様子を見ながら実施していく。